

實相寺花園会報 第202号

令和8年1月1日発行 発行所 臨濟宗妙心寺派 實相寺・實相寺花園会
〒761-0450 高松市三谷町1811番地1 TEL087-889-3838 編集発行人 山本 文匡 <https://www.jissouji.net>

今年も新年早々アメリカ軍がベネズエラに侵入し、大統領夫妻を拉致・連行するという驚くべきニュースで始まりました。「これは大変なことが起こった」と思ったのも束の間、イランでは各地で反政府デモが勃発し、中東情勢も俄に緊迫してきました。（今もその状況は変わりません）

ロシアによるウクライナ侵攻も5年目に入ろうとしています。世界は一体どうなるのだろうか？と思っていた矢先に日本では衆議院が解散するという激動の年明けとなった訳です。

ここ数年、社会の様々な場面で従来のやり方が変わり、過渡期を迎えている実感がありました。本当に今年は大きな変化の年に成りそうです。こうした時に大切なことは、慌てず騒がず冷静に対処することでしょう。

以前もご紹介しましたが『入菩薩行論』という経典には「大地を牛の革で覆いつくすことは出来ないが、牛の皮を足に履けばどこでも安全に歩くことができる。世界から無法者を無くすことは出来ないが、自分の心が平和であ

れば世界が平和になったのと同じだ」という教えがあります。

昨年11月、高市首相の国会答弁を巡っては連日新聞でも報道がされましたが、余りにも社会不安を煽るような記事ばかりだったものですから、嫌気がさして12月より新聞の購読を辞めました。またTVによる偏向報道もネット界限では批判されています。

勿論ネット情報が全て正しい訳ではありませんが、インターネットが玉石混交なのは最初から判っていることです。だからこそマスメディアや他人の話を鵜呑みにするのではなく、自分自身で判断することが大切です。幸い百年前とは違い、現代ではネットで様々な一次情報を直接確認することが出来ます。つまり今は一人一人の責任がより問われていると言えるでしょう。

6月の本山団参ですが、未だ2名しかお申し込みがありません。2月末日が申し込み期限ですので、ご参加頂ける方は至急ご連絡をお願い致します。なお参加者が10人に満たない場合は、残念ですが団参は中止とします。

「小水（しょうすい）の魚（うお）に
楽しみ有り」②

「属性」と「個性」

前回、「挨拶」には「属性」と「個性」が現れると申しました。例えば小学校の卒業式、校長先生の挨拶とPTA会長の挨拶、また来賓の挨拶ではそれぞれ内容が微妙に違います。校長先生は卒業生と保護者に祝辞を述べ、PTA会長は祝辞に加えて先生方への謝辞を述べます。また来賓は生徒への祝辞と共に保護者や学校関係者を労うのが一般的ですが、何故そうなのでしょう？それはそれぞれの立場が違うからです。それが「属性」です。

簡潔でそつのない挨拶をする方もいれば、たどたどしく朴訥だけれども心のこもった挨拶をされる方もいらっしゃいます。それはお一人お一人の「個性」です。中には歌を披露する等、ユニークな挨拶をする方もいらっしゃるかも知れません。ただ個性的なのは結構ですが、その立場（「属性」）に求められる役割を果たしていなければ、挨拶としてはお粗末という事になってしまいます。

このように挨拶一つにも良し悪しがある訳ですが、それはどこから来るかということ、慣れも確かにありますが、その時の「自分の役割を自覚しているか否か？」が肝心なのだと思います。

これは何も挨拶に限った話ではありません。私達は誕生した時から性別や国籍など、様々な「属性」を帯びています。仏教ではそれを「宿業（しゅくごう）」といいますが、両親から受け継ぐ遺伝情報や社会的環境なども含むでしょう。そして長ずるにつれて、そうした「属性」の影響を受けながら、容姿や学歴、運動能力などさらに多くの「属性」を身にまもって行きます。

ただ「属性」だけで人生全てが決まる訳ではありません。例えば大谷翔平選手のご両親が共にスポーツマンで、お父様が少年野球の監督をしていたことなどは、彼の人間性も含めて良い影響を与えているでしょう。しかし大谷選手の活躍は、与えられた才能や環境だけで成し遂げられた訳ではありません。つまり現在の大谷翔平選手という類い希なる「個性」は、彼がたまたま生まれ落ちたご縁＝「属性」の中で、精一杯努力した結果なのです。

ですから逆もまた然り、いくら恵まれた環境に生まれても、本人が望むような結果を得られないケースもあります。いや、むしろ殆どの場合、人生は思い通りにはならないのです。何故ならこの世の中は「因」と「縁」によって成立しているからです。これがお釈迦様が悟られた真理でした。これを「縁起（えんぎ）」といいます。